

増穂だより

M A S U O D A Y O R I

入学式典号



芝浦工業大学柏中学高等学校

<http://www.ka.shibaura-it.ac.jp/>

〒277-0033 千葉県柏市増尾700番地

TEL 04-7174-3100(代) FAX 04-7176-1741

編集 総務部

発行日 令和5年4月7日

印刷所 株横浜総合写真

第25回中学校・第44回高等学校入学式

2023年度 入学式告辞

鯉のぼりがたなびく芝浦工業大学柏中学高等学校の門をくぐられた生徒の皆さん、この度はご入学おめでとうございます。今日から中学校192名、高等学校298名の皆さんを本校にお迎えすることになります。勉強や各種行事、クラブ活動など充実した学校生活を送ってください。

さて、今年2月、トルコ南部のシリア国境付近でマグニチュード7.8の地震が発生し、約5万6000人の市民が犠牲になったと報道されています。今年は関東大震災から100年の節目の年でもあります。

そして、皆さんは2011年に発生した東日本大震災のことをほとんど知らない世代ですが、保護者の皆さんは福島第一原発事故もあり、生まれたばかりのお子さんの健康に非常に気を遣われたことと存じます。また、この3年間はコロナ禍の中でご家族の健康をどう守るのか、さまざまご苦勞をされたことでしょう。それだけに、今日、真新しい制服に袖を通したお子さまの姿に喜びもひとしおではないでしょうか。

このような中で、私たちは備えること、助け合い支え合うことの意味を改めて考えるようになっていきます。そうした考え方を意識することは、これからの社会においても非常に重要な意味を持っています。

科学技術が高度に発達した現代社会は、複雑で予測困難な時代になってきました。しかも、その変化が、これからの社会に羽ばたいていく子どもたちの生き方に大きく影響するようになってきているからです。

私たちは、この激動期をどう生きていけばいいのでしょうか。社会の変化に受け身で向き合うのなら、非常に難しい時代を生き抜くこととなります。しかし、前向きにとらえ、多感な感性をフルに働かせ、豊かな未来の社会を構想し、実現することに貢献しようという意思を持ち続けるなら、実り多い人生を過ごすことができるのではないのでしょうか。

本校は創立の理念として「創造性の開発と個性の発揮」を掲げています。1980年の開校以来、理工系大学の併設校と

校長 中根 正義



して一人ひとりの生徒の成長に寄り添いながら、この理念を实践するべく教育活動を行ってまいりました。

創造性を醸成し、それぞれが個性を發揮し社会に貢献することができれば、激動の時代を自らの思考を持って生き抜いていくことができます。そのためには、自分の強みや可能性をしっかりと自覚するとともに、他者を価値のある存在として尊重し、他者からも価値ある存在として認められることも重要になるのではないのでしょうか。

そのような共存関係こそが、子どもたちの成長につながります。そして、他者と協働しながら社会課題を乗り越え、持続可能な社会の一員として活躍できれば、豊かな人生を切り拓くことにつながるはずです。

私は冒頭で、校門に鯉のぼりを掲揚していることをお話ししました。この風習は、中国の故事がルーツになっています。中国の黄河中流にある急流に竜門と呼ばれる滝があります。この滝を登り切った鯉が竜になるとの伝承があり、鯉の滝登りが立身出世の象徴となったというものです。「登竜門」ということわざもここから来ています。

芝浦工業大学柏中学高等学校は、男子校からスタートしました。当時、本校が登竜門になるという思いも込め、入学式に鯉のぼりを掲げたのです。今年掲げられている鯉のぼりは、かつてのことを知っている教員から寄贈されたものです。本校は2029年に創立50年を迎えます。入学した生徒の皆さんが研さんを積み、社会で活躍してほしいという願いと、改めて原点に立ち返りたいという思いを込め、今回、久しぶりに鯉のぼりを掲げることにしました。

新入生の皆さんは今日、この日の夢や希望を大切に、可能性に満ちた未来に向かって歩んでください。私たち教職員は保護者の皆様と連携を密にしながら、その成長をサポートしていくことを誓い、本年度の式辞といたします。

目次

校長告辞 / 式次第	1 P
ご挨拶 / 歓迎の言葉 / 校歌 / 学園歌	2 P

一、閉式の辞	一、校歌紹介	一、新入生誓いの言葉	一、学校法人代表式辞	一、校長告辞	一、入学許可	一、開式の辞
--------	--------	------------	------------	--------	--------	--------

式次第

ご挨拶

新しい出会いと輝ける未来に

中学1年学年主任

中学25期生192名の皆さん、保護者の皆様ご入学おめでとうございます。皆さんとの出会いに喜びを感じるとともに責任の重さで身が引き締まる思いです。皆さんには、これからの芝柏生活で一人ひとりが夢中になれるものを見つけ、それに向かってしっかりと目標を立てて努力し続けてほしいと思っています。中学校生活では、今まで以上に多くの人とのかわりが生まれます。常に相手のことを考えて、思いやりや優しさを持って行動できるようにして下さい。そしてお互いに高めあいながら成長していってくれることを切に願っています。

自分の物語を創ろう！

高校1年学年主任

高校44期生298名の皆さん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員一同、心より歓迎いたします。芝柏は、意欲的で魅力的な生徒・教職員が数多くいる学校です。私自身も素晴らしい影響を受け続けています。人との出会いが、自分の能力を高め、世界を広げてくれることでしょう。生徒はもちろん、保護者の皆様と共に“最高の3年間”を創ることができたらうれしいです。たくさん話をして、高校生活の思い出を共有していきましょう。最後になりましたが、まず私が『“芝柏” Family (シバカシ・ファミリー)』の一員として、ベストを尽くすことを誓います。

歓迎の言葉

新たな挑戦

中学生徒会長

春らしく穏やかな気候に心和む季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎申し上げます。皆さんはこれから始まる新たな学校生活に夢や希望を持たれているのと同時に、慣れない環境への不安を抱えていることと思います。私も2年前は皆さんと同じでした。しかし、入学して新しい友達や先輩方と出会う事で、不安だった気持ちは一気に解消されました。これから勉強や部活動、行事などで忙しい日々が続くと思いますが、自分で限界を決めず、「新たな挑戦」をしていきましょう。

歓迎の言葉

高校生徒会長

新入生の皆様、御入学おめでとうございます。在校生一同、皆さんのご入学を心待ちにしておりました。

皆さんは本日より芝浦工業大学柏高等学校の生徒になります。

高校生になるということは、与えられる立場から、己に責任を持ち様々な事を取捨選択していくという立場になっていくことだと考えています。

新型コロナによる規制も緩和され、これから様々な行事ができるようになっていく中で、学校から提案されたイベントは勿論、自分のやりたいことは積極的に調べ挑戦して欲しいと思っています。私たちと共に高校生活を盛り上げていきましょう。

芝浦工業大学柏中学高等学校校歌

毎日が喜び

小椋 佳 作詞
川辺 真 作曲
編曲

芝浦工業大学

学園歌

北原白秋 作詞
山田耕筈 作曲

一、緑と実り 自然の恵み

抱かれて建つ 白い学び舎

出逢う友は皆 輝く太陽のかなた

無限の宇宙へ 挑む翼を磨く

伝説を築くものたち

新しい道を拓くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

二、伸びやかな風 行く大津川

深い想いの 城址公園

集う友は皆 あふれる友情をかかえ

それぞれの夢に 熱い誓いを結ぶ

責任を果たすものたち

自由な心を抱くものたち

柏の青春 毎日が学ぶ喜び

柏の青春 毎日が生きる喜び

一、朝日に輝く風と潮

雄大空あり雲は移る

仰げよ校旗の翩翻たるを

白亜の殿堂ここに聳え

われらが工学英気鍾む

芝浦芝浦われらが母校

二、世紀に脈うつ熱と理性

剛健矩あり常に鍛ふ

行へほがらに澁刺たれや

師弟の純情一に依りて

磨くにこの技に通ず

芝浦芝浦われらが母校

三、永遠に栄ゆく意志と秩序

誠実ただあり道は徹る

夢むな空理の漠々たるを

精微をきはめて事に即かば

工学日本大を成さん

芝浦芝浦われらが母校